

## 平成 29 年度 学校評価報告書（目標設定）

視点	4年間の目標 (平成 28 年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	生徒の学力向上と希望進路を保障する教育課程編成と授業改善に取り組む。	教育課程の充実と改善を推進する。  組織的な授業改善を進め、生徒の学力向上と家庭学習の習慣を定着させる。	平成 30 年度実施の教育課程において、授業時間数の充実など授業の量を確保する。  各教科でアクティブラーニングの視点（対話的・主体的で深い学び）にたった授業を充実させる。  近隣小中学校との相互授業見学を行う。  各教科で外部テスト等の結果を分析し、課題の共通理解のもと授業改善を行う。  計画的な小テスト及び課題を実施し、家庭学習の習慣を定着させる。	授業の量を確保する教育課程を編成することができたか。  各教科研究授業を実施するとともに、授業改善研究が定期的・継続的に実施できたか。  近隣小中学校への授業見学者を増やすことができたか。  生徒による授業評価結果に向上が見られたか。  生徒の平均家庭学習時間を増加させることができたか。
2 生徒指導・支援	生徒の主体的な活動による学校行事や生徒会活動等を通し、生徒がお互いを尊重し、協働する姿勢を身に付けさせる。 生徒の多様性を踏まえた支援体制の充実を図る。	学校行事の企画・運営を通して、生徒の主体性、責任感、連帯感を向上させる。  支援教育についての理解を深め、日々の指導・支援の質を向上させる。	行事の目的を明確化するとともに教職員・生徒が相互にその目的を意識化することで行事を企画・運営する。  教育相談チームが中心になり、研修等を含めた教育相談年間指導計画を作成し、実践していく。	それぞれの行事の目的が達成され、高い満足度が得られたか。  教育相談チームによる啓発や S C や S S W 等との連携等、教育相談に関する組織的対応が進んだか。
3 進路指導・支援	卒業 10 年後の未来像の実現に向け、生徒の主体的な進路選択を支援する体制の充実を図る。	希望進路を具体的に持たせその実現のために家庭学習を習慣化させる。  一般受験による進学率を向上させる。	キャリア支援グループと学習支援グループ、学年が定期的に会合を持つ。1, 2 年生に自らの 10 年後の未来像を描かせ、それにつながる卒業後すぐの進路先を可視化させる。  進路講習・補習を充実させる。 安易に推薦受験に流れることのないよう指導を行い、一般受験を目指す生徒を増やす。	関係グループと学年の会合を定期的に開催できたか。生徒個々に自分のキャリア計画を可視化させられたか。  前年度に比して一般受験の割合が増えたか。志望する大学等への希望進路が実現したか。
4 地域等との協働	地域や保護者との連携を推進し、開かれた学校づくりを進める。	近隣の小中学校や企業及び自治会等との連携の機会、内容を充実させ、地域との相互理解、相互支援を進める。	地域防災訓練等地域の行事に関係グループ及び生徒が継続的に参加する。  住友電工との連携を、キャリア学習、あいさつ運動、防災訓練等を通じて深める。	地域防災訓練等地域の行事に昨年度を上回る参加があったか。  住友電工との連携による学校行事を複数回実施できたか。

5	<p>学校管理 学校運営</p>	<p>安全・安心な学校づくりを推進する。</p>	<p>老朽化や危険箇所への対応を行う。</p> <p>実践的な防災訓練を行う。</p> <p>事故、不祥事の未然防止を徹底する。</p>	<p>修繕、補修を要する箇所を具体的に把握し、対応を進める。</p> <p>DIG を生徒向けに実施し地域連携の重要性に注意喚起させる。避難訓練を地震で実際に一部崩壊した想定下で実施する。</p> <p>全ての業務において事故、不祥事未然防止を徹底する。</p>	<p>教育環境に対する生徒や保護者の評価は高まったか。</p> <p>生徒及び職員の防災に対する意識は向上したか。</p> <p>事故、不祥事ゼロを達成できたか。</p>
---	----------------------	--------------------------	--	---	---